

## 意外と知らない！ 研究の豆知識

—大学院から症例報告・画像の論文—

◎大西 秀典<sup>1)</sup>福井大学医学部地域医療推進講座<sup>1)</sup>

臨床研究は、最初から大規模な研究に取り組むよりも、小さなスケールの研究から始めることをおすすめする。限定的なテーマや身近な問題を選び、研究手順を明確にして取り組むことで、研究の進め方や結果の解釈を学ぶことができる。初学者にとって症例報告・Clinical Pictures（医用画像研究）の検討は取り掛かりやすい研究である。研究初学者において指導者は必要不可欠である。指導教員や先輩研究者は経験豊富な先輩であり、初学者にとって専門的な知識や経験を提供する貴重な存在となる。大学院は学問を究めることや専門的なスキル習得だけでなく、研究仲間を見つけ、チームビルディングを行うための有益な教育の場でもある。しかし、大学院への進学を入試資格などの条件であきらめている臨床検査技師も多いのではないだろうか。

本発表では、症例報告・Clinical Pictures（医用画像研究）や大学院の個別入試資格審査について述べる。

## 1) 症例報告・Clinical Pictures（医用画像研究）について

症例報告やClinical Pictures（医用画像研究）は初学者にとって取り掛かりやすい研究の一つである。これらの研究は希少症例の紹介や医用画像の詳細な分析が対象であるため、統計学的検討や大規模な調査・実験を行う必要もない。

症例報告は、患者の臨床的な情報や経過を詳細に記載する論文形式で、一つの症例に焦点を当て、診断に苦慮した症例、珍しい症状や稀な検査結果、治療法の成功などを報告する。論文の作成は考察部分の工程で悩むことが多い。症例報告ではPubMed、Google Scholar、医中誌等の文献検索システムで同様の症例を集め、文献的考察をふまえて記載すると考察が深まる。例えば、複数の既報例と自験例を比較することで、新たな知見を得ることがある。

Clinical Pictures（医用画像研究、以下CP）は、特徴的な画像所見や臨床医学で関心を集める写真等から視覚的な情報を強調する学術的な論文形式の一つである。言い換えれば、1枚の画像写真を中心とした短い症例報告である。CPは、画像や波形を基に検査を行う生理機能検査室の技師には取り掛かりやすい論文形式であり、初心者におすすめである。また、CPは一般的な研究論文より簡潔で、本文が150～500 words以内、文献は2～5つ以内と比較的作成しやすい。日本臨床検査技師会の「医学検査」における英文要旨は250 words以内としていることから、CPが、いかに簡潔な形式であるかがわかる。The New England Journal of Medicine (NEJM) は、世界で最も権威ある総合医学学術誌の一つであるが、同誌でもImages in Clinical Medicineにおいて画像論文の投稿ができる。NEJMの画像論文の投稿規定は、参考文献なしで150 words以内とある。

## 2) 大学院の個別入試資格審査について

大学院の入学には大学卒業などの条件があり、入学を諦めている臨床検査技師も多いのではないだろうか。実は高卒や専門学校卒・短大など、大学(4年制等)を卒業していない場合でも、大学院への入学は可能である。文部科学省「修士課程・博士課程（前期）の入学資格について」の第10項に、大学院において個別の入学資格審査により認められた22歳以上の者（施行規則第155条第1項第8号）とある。各大学院には「個別入試資格審査」が設けられており、審査を通過すると大学院への出願資格が得られる。審査基準は、大学院により異なるため、志望する大学院に問い合わせることが肝要である。大学院における学びは、研究手法やデータ解析の能力を向上させ、問題解決能力を高めることができ、自己の成長につながる。また、大学院で仲間が増えるという点は非常に有益で、病院外での人脈形成にも役立つ。

最後に、研究は大変な苦労がある一方で、大きな充実感も得られる。成功体験を積み重ねることで、自己の成長を感じることができる。この素晴らしい環境に、是非一歩踏み出して、チャレンジしてください。

連絡先：0776-61-8264